



ご入園・ご入学・ご進級おめでとうございます。

4月は旧暦で「卯月（うづき・うつき）」とも言います。「卯の花（ウツギの花）が咲く月」が省略された呼び名が、当てはめられたことが由来と言われています。さまざまな草木が花を咲かせる季節。その光景は子どもたちが成長していく姿にも重なります。

あひるっくルームでは、お子様の病状を見守りつつ、保護者の皆さんの不安なお気持ちにも寄り添って、安心できる病児保育を目指していきたいと思います。

そしてわが子を感染症から守るためには、予防をきちんとしておく必要があるのです。今回は、そんな入園後の感染症と予防についてご紹介いたします。

### 感染症の主な感染経路はどこから？

感染症の主な感染経路は“飛沫感染”、“空気感染”、“経口感染”、“接触感染”の4つです。

#### 飛沫感染

飛沫感染とは病原体を含んだ患者の咳やくしゃみなどによって飛散した体液の粒子（飛沫）を吸い込むことで感染します。飛沫は1~2メートルの範囲に飛び散ります。インフルエンザ・百日咳・風しん（三日ばしか）などが飛沫感染で広がる感染症です。

#### 経口感染

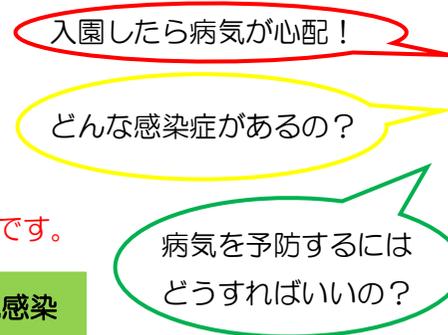
病原体や、病原体を含んだ水や食べ物を口に入れることで感染します。同じお箸や食器などを共有しても移るので注意が必要です。腸管出血性大腸菌・ノロウイルス・カンピロバクターなどが経口感染で広がる感染症です。

#### 接触感染

体液や血液など病原体を含む感染源に触れて、その汚染された手で粘膜（目、鼻、口など）に触ることで感染します。握手や抱っこなど直接の接触だけでなく、ドアノブ・遊具・タオル・足拭きタオルなど、感染している人が触れたものに他の人が触れることでも病原体が体の中に入り込むことがあります。エンテロウイルス・ロタウイルス・ノロウイルス・アデノウイルスが接触感染で広がる感染症です。

#### 空気感染

飛沫が乾燥し、病原体が感染性を保ったまま空気の流れによって拡散すると、近くの人だけでなく、遠くにいる人も病原体を吸い込むことで感染します。空気感染は飛沫感染より感染力が強いため注意が必要です。麻しん（はしか）・水ぼうそうなどが空気感染で広がる感染症です。



入園したら病気が心配！

どんな感染症があるの？

病気を予防するにはどうすればいいの？



- ① 帰宅後もしっかり手洗いうがいを行きましょう。
- ② あらかじめ予防接種で防げるものは、早めに予防接種を受けるようにしてください。水ぼうそう・おたふくかぜ・麻疹・風疹・インフルエンザは予防接種を受けることで重症化を防ぐことができます。
- ③ 本来の免疫力が落ちないように、日頃から規則正しい生活を心がけましょう。



2024.4 VOL.9  
ふくだこどもクリニック  
院長 福田 友子